

下之城仲沖Ⅱ遺跡

— 高崎市都市計画事業高崎操車場跡地周辺土地区画整理事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書（5） —

2005

高崎市教育委員会

序

高崎市は、周囲に上毛三山を望む、関東平野の北西部に位置し、古来より交通の拠点として栄えてきました。

市内には周囲の山々の水を集めた大小の河川が流れ、遙か太平洋へと通じています。こうした地理的立地条件のために、古くから人々が生活し、出会い、行き交いながら発展してきました。そして現在、高速交通・通信ネットワーク化時代が到来し、北関東における「交通拠点都市」としての役割がますます増しており、21世紀を迎えさらに発展していくことを目指すものであります。

本書で報告します下之城仲沖Ⅱ遺跡は、高崎操車場跡地周辺区画整理事業に伴う発掘調査であります。地下に眠る貴重な埋蔵文化財が破壊される危険性があったため、関係各局・機関との協議や調整を行い、記録保存という方法で行われました。

この報告書が多くの方々に活用され、当地域の歴史の解明に役立てれば幸いです。

最後になりましたが、発掘調査にご理解・ご協力いただいた地元の皆様、並びに関係各位・機関の方々に心から感謝いたしますとともに、発掘・整理作業に従事してくださった方々に厚く御礼申し上げ、序といたします。

平成17年 3 月

高崎市教育委員会

教 育 長 砂 田 威 夫

例 言

- ・本書は、高崎操車場跡地周辺土地地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書（５）である。
- ・本遺跡は、群馬県高崎市下之城町584-11番地他に所在している。
- ・発掘調査は、高崎市教育委員会文化財保護課埋蔵文化財担当が行った。期間は平成16年11月2日から16年12月20日である。また、整理作業は平成17年1月5日から平成17年3月31日まで断続的に行った。
- ・調査組織は、
事務局……………神戸 聖語・斎藤 寛方
黒田 晃・山下 孝子
調査担当……………高橋 純
- ・本遺跡は高崎市の遺跡番号で384である。
- ・本遺跡の発掘調査で得られた図面・写真等の資料は高崎市教育委員会が保管している。
- ・本書の執筆・編集は高橋が行い、挿図作成等は、担当者の指示で次の者が行った。
秋山 道子・信澤 百合子
- ・遺構の写真撮影は高橋が行った。
- ・本遺跡の発掘調査において、表土の掘削及び埋填は井上リース（株）・桜井建材（株）、基準点測量は（株）横田調査設計、空中写真撮影は（株）測研にそれぞれ委託して行った。
- ・発掘調査にあたり、地元関係者・高崎市役所都市拠点整備局基盤整備課にご協力いただいた。

凡 例

- ・本書に使用した地図は、1／2500高崎市都市計画図と、国土交通省国土地理院発行の、1／25000地形図「高崎」である。
- ・遺構には次の記号を使用し、1からの通し番号で表記した。
SD＝溝跡、SK＝土杭
- ・遺構平面図は、上端を太線、下端を細線で表現した。また、北方向は、世界座標による座標北を示している。

- ・本書において、土層断面図に使用したスクリーンは次の意味を示す。

……………浅間山給源B軽石一次堆積層

- ・土層断面図・エレベーション図の5桁の数字は標高を表し、単位はメートルである。
- ・土層の色調は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修『新版標準土色帖』（1996年度）を用いた。
- ・本遺跡において検出された主なテフラの名称・年代は下記の通りである。

表 記

As－BまたはB軽石

名 称

浅間山給源B軽石

年 代

1108年(天仁元)年

目 次

序

例言

凡例

第Ⅰ章 発掘調査の経過……………	1
第1節 調査にいたる経緯……………	1
第2節 調査の経過……………	1
第Ⅱ章 発掘調査の方法……………	1
第Ⅲ章 遺跡の立地と環境……………	2
第1節 立地……………	2
第2節 歴史的環境……………	2
第Ⅳ章 遺跡の概要と土層……………	5
第1節 遺跡の概要……………	5
第2節 調査区の土層……………	5
第Ⅴ章 検出された遺構……………	7
遺構写真図版……………	12
抄録……………	

第Ⅰ章 発掘調査の経過

第1節 調査に至る経緯

高崎市は古くから交通の要衝として発展してきた。現在も上越・長野新幹線や関越自動車道が整備され、北関東の拠点都市としての役割がますます高まっている。

今回の発掘調査は、高崎操車場跡地周辺土地区画整理事業に伴うもので、5年次の調査である。1・2・3・4年次の調査では古墳時代の住居跡や平安時代の水田跡、中世の城館跡などが確認されており、今回の調査対象地も同様の遺構の存在が想定された。しかし、都市計画事業は既に進行中で計画の変更は難しく、図面・写真等による記録保存を目的とする調査を実施することになった。

第2節 調査の経過（日誌抄）

平成16年11月2日（晴れ）	11月26日（晴れ）
調査器材の点検・準備	3区B軽石除去作業
11月4日（晴れ）	11月30日（晴れ）
調査器材搬入	4区表土掘削作業開始
11月9日（晴れ）	4区B軽石除去作業
調査区設定	12月8日（晴れ）
11月10日（晴れ）	空中写真撮影
1区表土掘削作業開始	12月13日（晴れ）
1区B軽石除去作業	調査区埋填
11月17日（晴れ）	12月17日（晴れ）
2区表土掘削作業開始	発掘器材搬入
2区B軽石除去作業	
11月25日（晴れ）	
3区表土掘削作業開始	

第Ⅱ章 発掘調査の方法

調査区の設定として、現況の道路や水路で分け、1～4区とした。

表土掘削には重機を用い、1～4区とも浅間B軽石（以下B軽石）層直下面を調査した。

遺構の測量は、世界座標に基づく基準杭の設置・水準点の移設を業者に委託して実施した。遺構平面図については、1/40、セクション・エレベーション図については、1/20を基本として実測を行った。

記録写真については、35mmモノクロームフィルム及びカラーリバーサルフィルムを使用し、必要に応じて35mmカラーネガフィルムも併用した。

第Ⅲ章 遺跡の立地と環境

第1節 立地

群馬県高崎市関東平野の北西端部に位置する。周囲には上毛三山の赤城・榛名・妙義山などの山々が連なり、市の北西部は榛名山麓の裾野の一部を含んでいる。また、西方には烏川が東南に流れ、碓井川や井野川などの諸河川を一括して利根川へ合流している。

高崎市の地形も、河川の流れと同様、北西から東南に向けて緩やかに低くなる。

本遺跡の所在する下之城は、市の南東部に位置し、烏川と井野川にはさまれる低台地上に所在する。町の大部分は低地が広がっており、所々に微高地が点在している。現在、低地は水田耕作、微高地は集落の形成や畑作農地として利用されている。

第2節 歴史的環境

縄文時代の遺構としては、隣接する下佐野町の下佐野遺跡や倉賀野町の倉賀野万福寺遺跡において、住居跡等が確認されている。弥生時代の遺構としては、特に調査例はない。

古墳時代になると、隣接する倉賀野町に、国指定史跡の浅間山古墳・大鶴巻古墳をはじめとする倉賀野古墳群が形成されている。この地域にはかつて大小300基以上の古墳があったとされるが、多くの墳丘は既に削平されてしまった。また、古墳群との関連で重要な遺跡として、倉賀野万福寺Ⅰ・Ⅱ遺跡や下佐野遺跡などがあり、住居跡等が検出されている。なお、平成13・14年度調査の下之城村前Ⅳ・Ⅴ遺跡では古墳時代の住居跡が検出されているが、これらは浅間山古墳から北へ約400mの位置にあり、古墳群との関連性も考えられる。

奈良・平安時代の遺構としては、B軽石下の水田跡が下之城町だけでなく、近隣の倉賀野・下中居・矢中・柴崎町などで数多く調査されている。これらの水田跡は、古代条里制地割を伺わせる畦畔や水路も多く確認されている。ただ、畦畔については遺存状況の良好なものは少ない。

中世になると、倉賀野氏や和田氏などの武士がこの地域に館を構えるようになる。和田下之城は和田城の支城で、和田氏が永禄年間に築城したと考えられる。平成13・14年度調査の下之城村前Ⅳ・Ⅴ遺跡では、城館址の一部と考えられる堀跡や掘立柱建物が調査され、「下之城村前館址」と名付けられた。これらは和田下之城と関連性のある施設の可能性があるとして報告されている。本遺跡でも、この時代と考えられる堀跡等が検出された。この他にも、倉賀野城や永泉寺、倉賀野新堀屋敷など、現在でも堀跡や土塁など僅かに痕跡を残す城址や砦址がある。

近世になると、倉賀野は中山道の宿場町として栄えるようになる。下之城は、近隣の中居や矢中なども含めて水田が広範囲に存在していたと考えられる。この時代の遺構としては、As-Aに被覆されてしまった水田の復旧坑と考えられる遺構が、下之城を始め周辺の遺跡で調査されている。本遺跡や平成12・14・15年度調査の下之城村前Ⅲ・Ⅴ・下之城仲沖・倉賀野上新堀Ⅰ遺跡でも、この復旧坑跡が検出されている。下之城では現在でも土塁状の高まりがいくつか確認できるが、地元の方の話によると、As-Aの復旧坑の跡であるとのことだった。

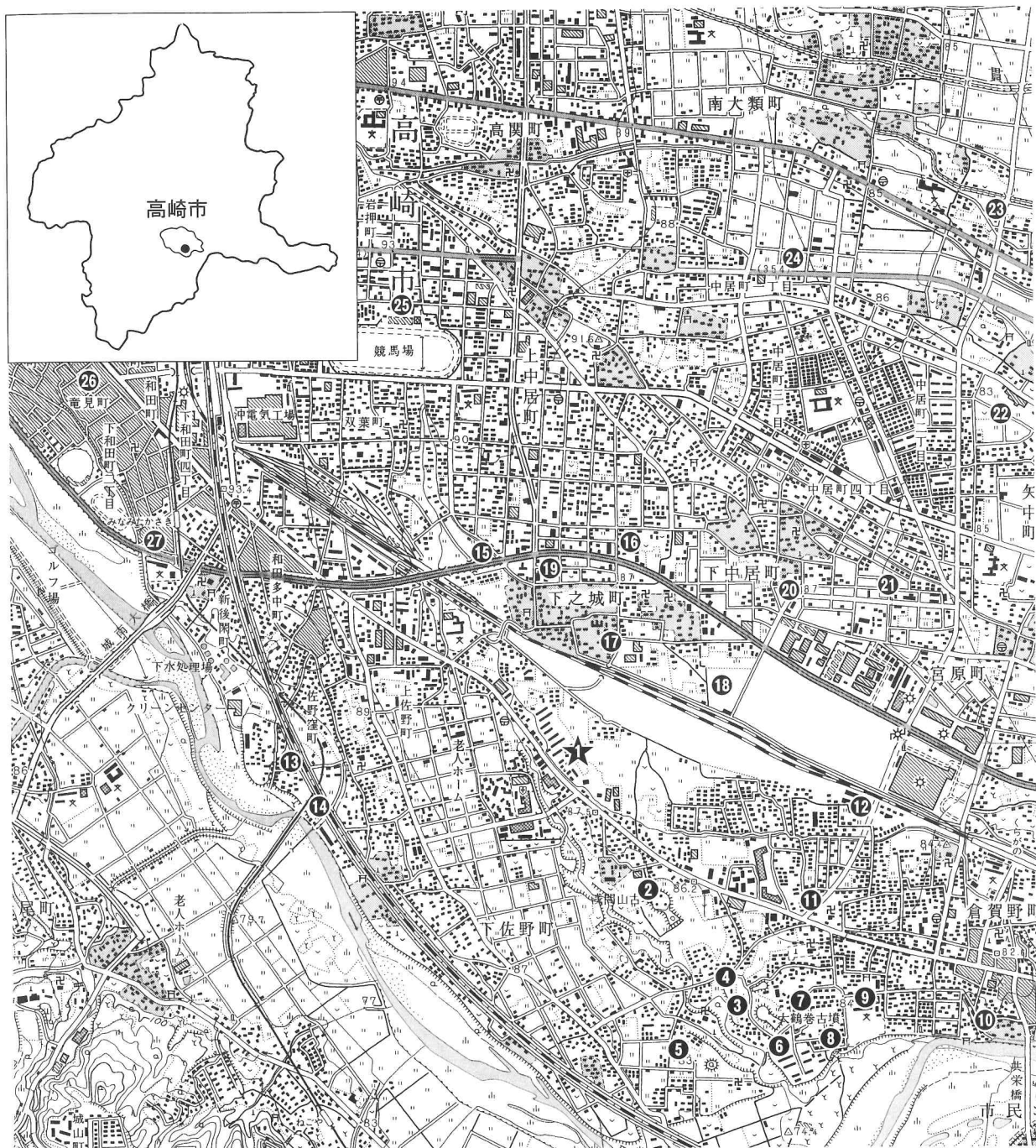


図1 周辺の遺跡

- | | | | |
|-------------|------------|-------------|-----------------|
| 1 下之城村前Ⅴ遺跡 | 8 宮之前遺跡 | 15 下之城村西遺跡 | 22 矢中天王前遺跡 |
| 2 浅間山古墳 | 9 倉賀野城跡 | 16 下之城村北Ⅱ遺跡 | 23 柴崎吹手B・吹手西D遺跡 |
| 3 大鶴巻古墳 | 10 倉賀野河岸跡 | 17 下之城村前Ⅱ遺跡 | 24 柴崎遺跡群 |
| 4 小鶴巻古墳 | 11 安楽寺古墳 | 18 下之城村東遺跡 | 25 競馬場遺跡 |
| 5 大山古墳 | 12 倉賀野続橋遺跡 | 19 和田下之城跡 | 26 竜見町遺跡 |
| 6 倉賀野万福寺遺跡 | 13 舟橋遺跡 | 20 下中居条里遺跡 | 27 城南小学校遺跡 |
| 7 倉賀野万福寺Ⅱ遺跡 | 14 下佐野遺跡 | 21 矢中村西遺跡 | |

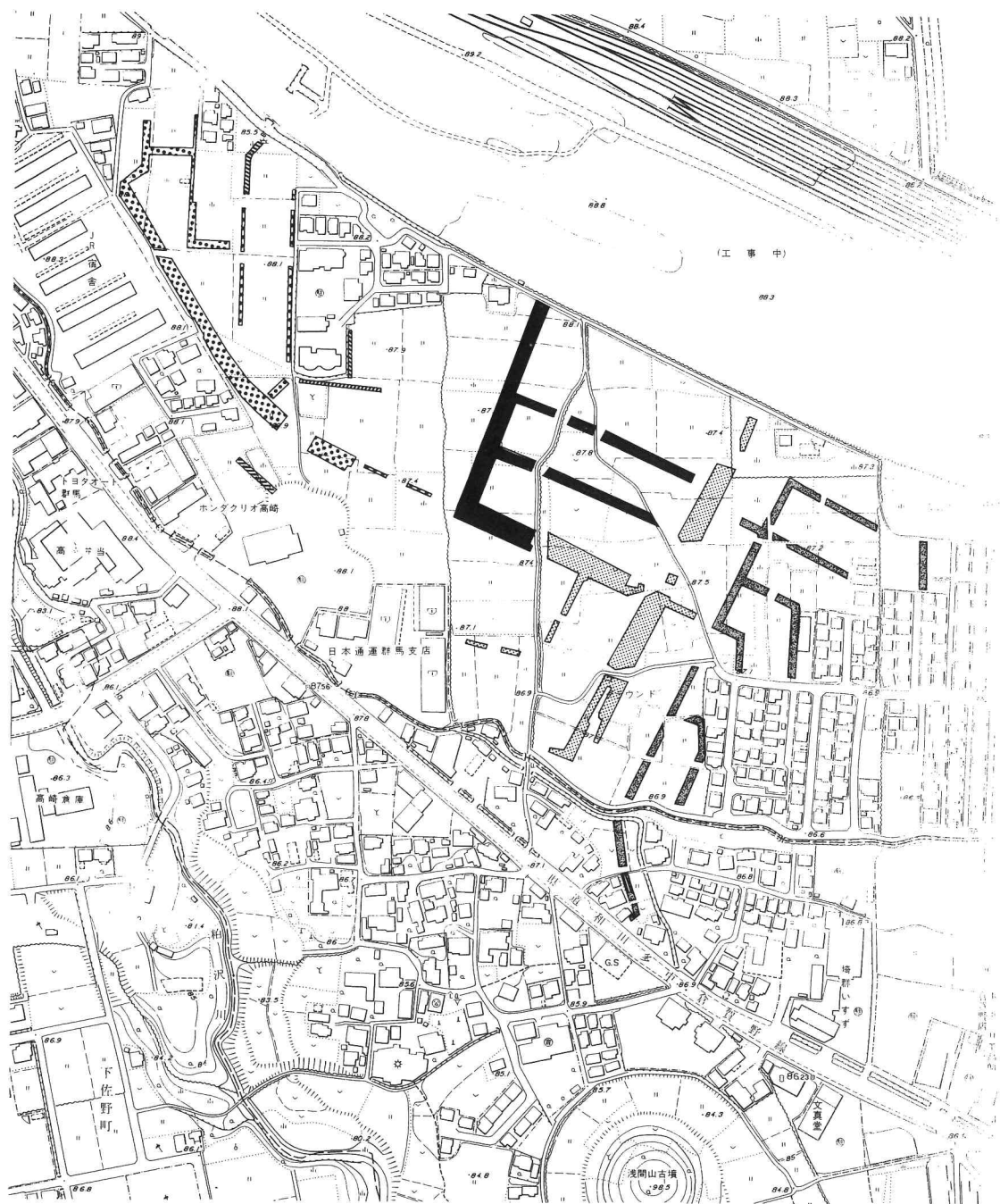


図2 遺跡位置図

- 本遺跡
- 下之城仲沖遺跡（平成15年度調査）
- 下之城村前Ⅴ遺跡（平成14年度調査）
- 下之城村前Ⅳ遺跡（平成13年度調査）
- 下之城村前Ⅲ・倉賀野上新堀Ⅰ遺跡（平成12年度調査）

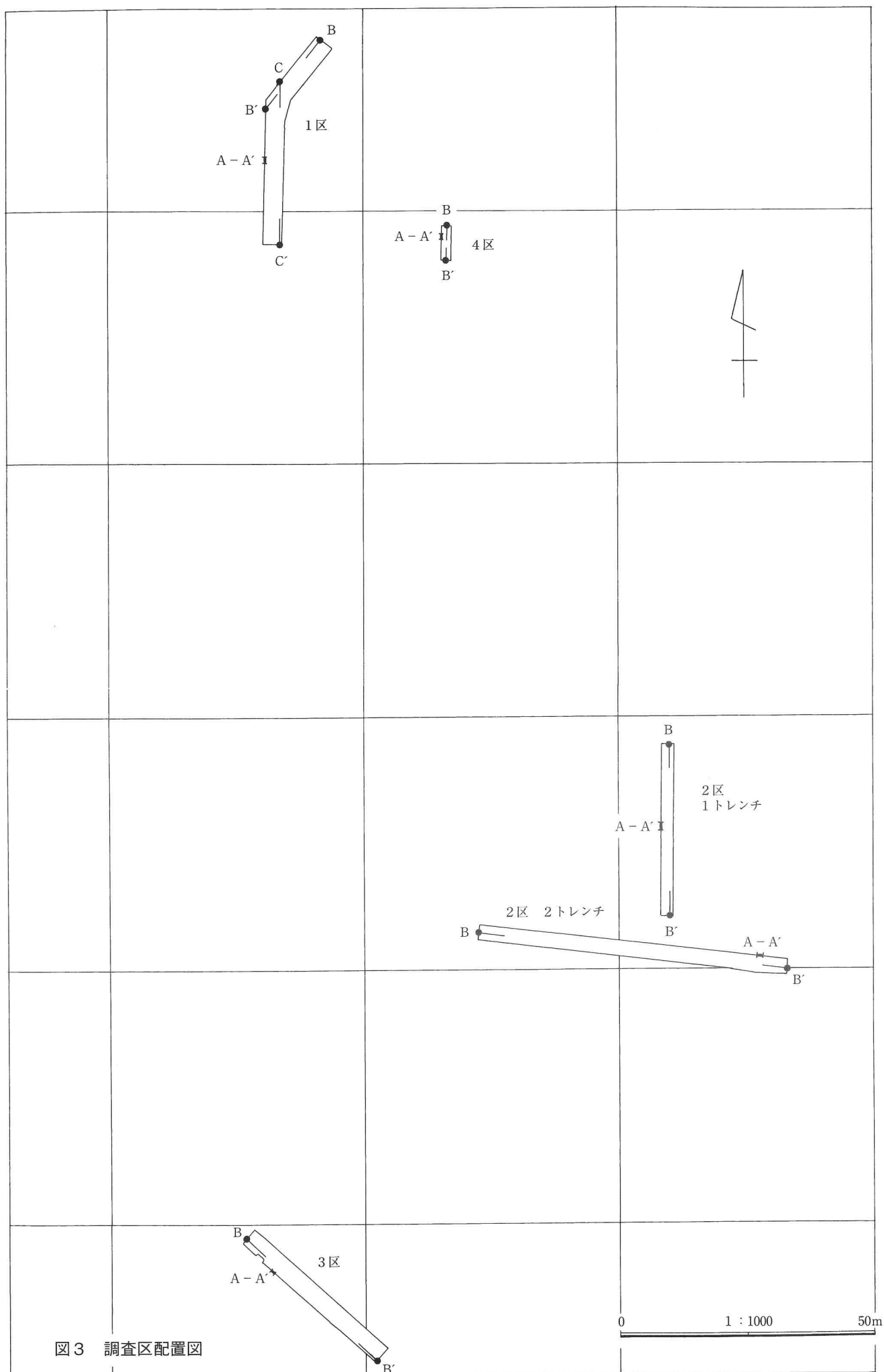


図3 調査区配置図

第Ⅳ章 遺跡の概要と土層

第1節 遺跡の概要

○近世

1区で土坑・2区で溝跡が検出された。

○奈良・平安時代

1～4区でAs-Bに被覆された水田跡を検出した。また、畦畔跡は確認されず、人の足跡と考えられる窪みが確認できた。

第2節 調査区の土層

1～4区の土層は、基本的には上から、現耕作土層→B軽石混土層→B軽石→次堆積層→B軽石下水田土壌→洪水堆積層という層序である。調査面はB軽石下水田土壌である。

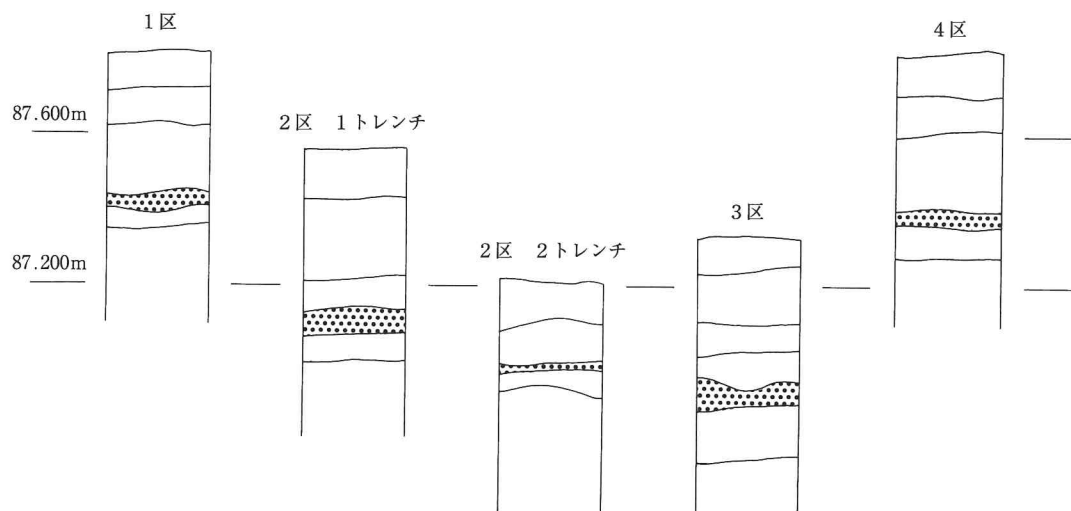


図4 調査区の基本土層

基本層序

- | | |
|---|----------------------------------|
| 1 暗褐色土 (10YR3/3)
現耕作土。 | 6 黒褐色土 (10YR2/2)
粘性強く、締りの弱い土。 |
| 2 黒褐色土 (10YR3/2)
A軽石を少し含み、粘性弱く、締りの強い土。 | 7 暗褐色土 (10YR3/3)
粘性強く、締りの弱い土。 |
| 3 暗褐色土 (10YR3/4)
B軽石を少し含み、粘性弱く、締りの強い土。 | |
| 4 黒褐色土 (10YR3/1)
B軽石を少し含み、粘性弱く、締りの強い土。 | |
| 5 暗褐色土 (10YR3/3)
As-B一次堆積層。 | |

第V章 検出された遺構

・溝跡

2区でS D01を検出した。S D01の確認面での規模は、長さ3 m、上幅25～30cm、下幅20cm前後、深さ20cm前後で、方位は南北方向である。

B軽石一次堆積層を切って掘られ、覆土にA軽石を混入している。

遺物は出土しなかった。

・土坑

1区でS K01を検出した。S K01は直径が80cmであり、深さ30cmほどで、平面形はほぼ円形である。B軽石一次堆積層を切って掘られ、覆土にA軽石を混入している。

遺物は出土しなかった。

・水田跡

1・2・4区の現況は水田である。周囲は稲刈りが終わり、調査区は水田に囲まれていたが、掘削しても水が湧くようなこともなく、遺構の確認も速やかに行えた。3区については、畑のような微高地になっていたが、調査区の横に用水路が流れ雨水増水の心配もあったため、A s - B層を確認後、排水用の水路を掘り精査を行った。

1・2・3・4区でA s - B直下の水田跡が検出された。A s - Bの堆積は良好で、地表から40～50cmの深さで確認され、5～7cmの厚さで堆積していた。水田面はほぼ平坦であるが、傾斜を見ると比較的北側が高く、南に行くにつれて低くなっている。

2区（2トレンチ）については、地表から20cmの深さでA s - Bが確認されたが堆積状況あまり良くなく、2～3cmの厚さであった。水田面はほぼ平坦であるが、傾斜を見ると比較的西側が高く、東に行くにつれて低くなっている。また、西側から一部現況素堀の水路があり、調査区の中央部分は殆ど削平されているようであり、全体的に水田跡としての残存状況は良くないと思われる。

水田土壌は、粘性の強い黒褐色で水もちのよい保水性に富んだものであったと考えられる。このことは、調査期間中に降雨にみまわれ、ひどくぬかるんだり、湛水状態になった調査区から、水がしばらく引かなかったことからうかがえる。

水田面には、人の足跡と推定される凹が多数あったが、歩行状況を確認することはできなかった。

畦畔については、高まりが所々みられたが、掘削範囲が狭小であったため、畦畔とは断定できなかった。

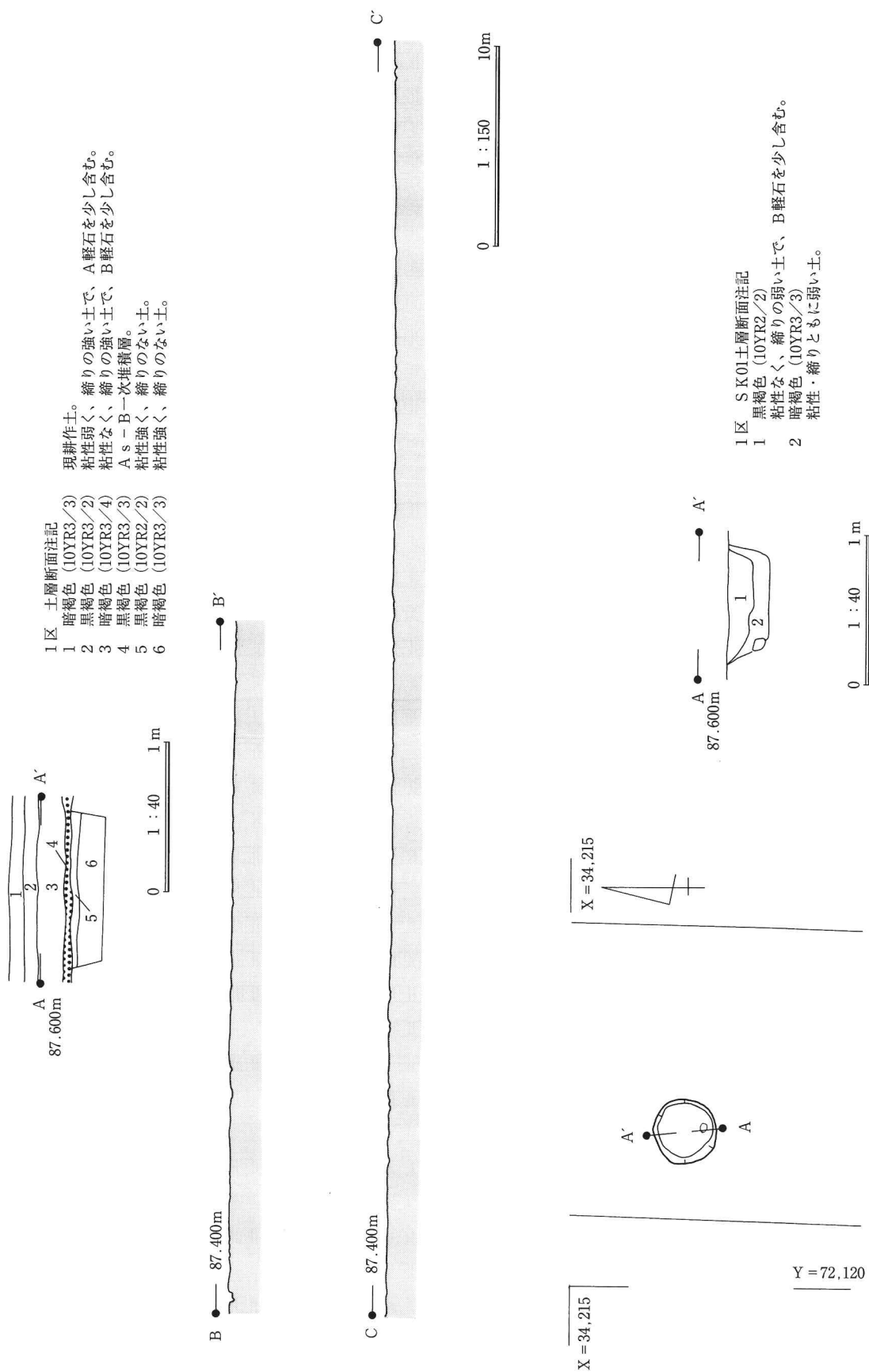
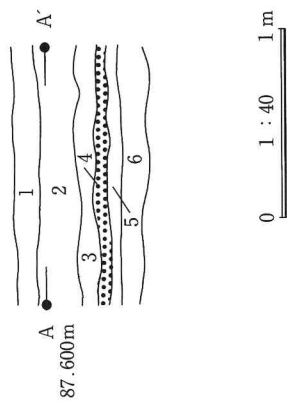


図 5 1 区 土層断面図・イレベーション図・S K 01平面図



- 2区 1 トレンチ土層断面注記
- 1 暗褐色 (10YR3/3) 現耕作土。
 - 2 黒褐色 (10YR3/2) 粘性弱く、締りの強い土で、A 軽石を少し含む。
 - 3 暗褐色 (10YR3/4) 粘性なく、締りの強い土で、B 軽石を少し含む。
 - 4 黒褐色 (10YR3/3) A s - B 一次堆積層。
 - 5 黒褐色 (10YR2/2) 粘性強く、締りのない土。
 - 6 暗褐色 (10YR3/3) 粘性強く、締りのない土。

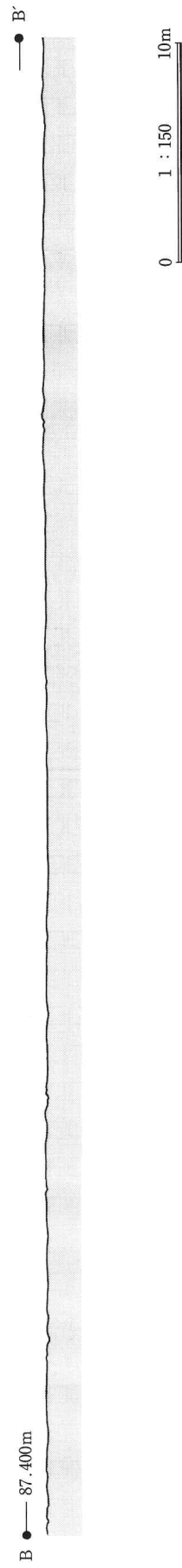
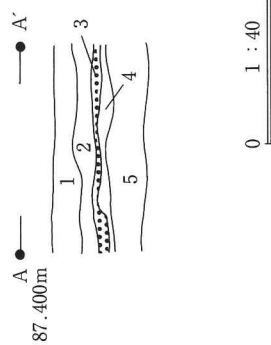


図 6 2区 1 トレンチ土層断面図・エレベーション図



- 2区 2トレンチ土層断面注記
- 1 暗褐色 (10YR3/3) 現耕作土。
 - 2 黒褐色 (10YR3/2) 粘性弱く、縮りの強い土で、A軽石を少し含む。
 - 3 暗褐色 (10YR3/3) A s - B一次堆積層。
 - 4 黒褐色 (10YR2/2) 粘性強く、縮りのない土。
 - 5 暗褐色 (10YR3/3) 粘性強く、縮りのない土。

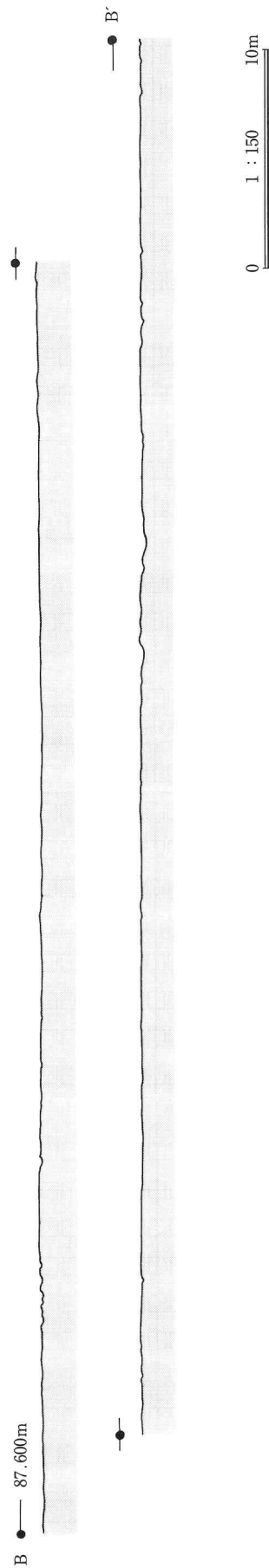
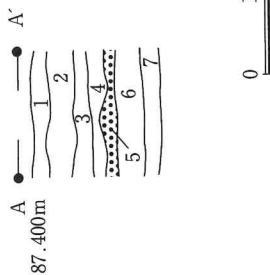
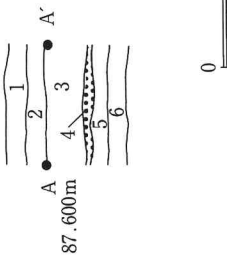
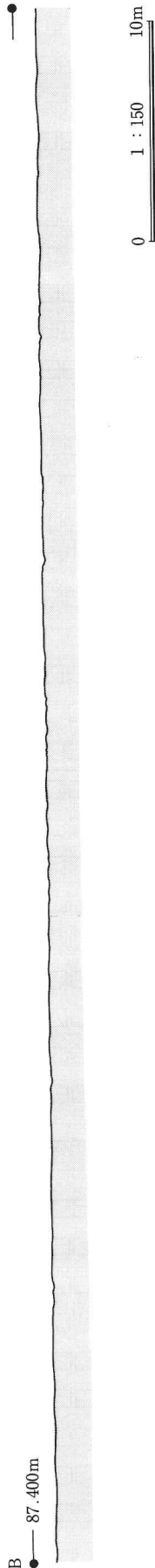


図7 2区 2トレンチ土層断面図・エレベーション図



3区 土層断面注記

- 1 暗褐色 (10YR3/3) 現耕作土。
- 2 黒褐色 (10YR3/2) 粘性なく、締りの強い土で、A軽石を少し含む。
- 3 暗褐色 (10YR3/4) 粘性なく、締りの強い土で、B軽石を少し含む。
- 4 黒褐色 (10YR3/1) 粘性なく、締りの強い土で、B軽石を少し含む。
- 5 暗褐色 (10YR3/3) A s - B一次堆積層。
- 6 黒褐色 (10YR2/2) 粘性強く、締りの弱い土。
- 7 暗褐色 (10YR3/3) 粘性強く、締りの弱い土。



4区 土層断面注記

- 1 暗褐色 (10YR3/3) 現耕作土。
- 2 黒褐色 (10YR3/2) 粘性なく、締りの強い土で、A軽石を少し含む。
- 3 暗褐色 (10YR3/4) 粘性なく、締りの強い土で、B軽石を少し含む。
- 4 暗褐色 (10YR3/3) A s - B一次堆積層。
- 5 黒褐色 (10YR2/2) 粘性強く、締りの弱い土。
- 6 暗褐色 (10YR3/3) 粘性強く、締りの弱い土。

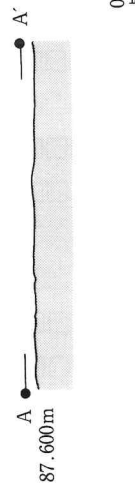


図8 3区・4区 土層断面図・エレベーション図

遺構写真①

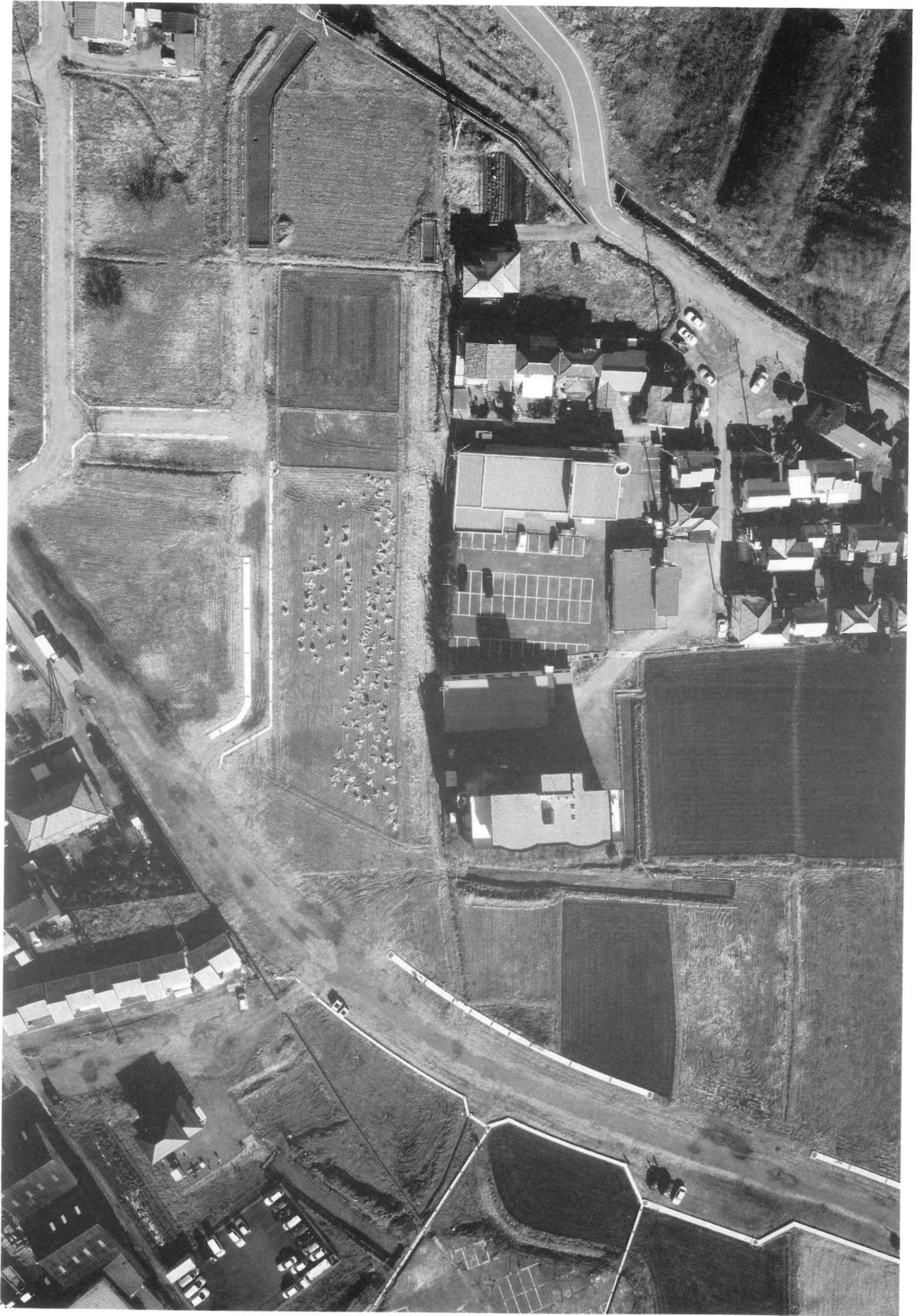


写真1 調査区全景（上が北）

遺構写真②



写真2 調査区と周辺（南から）

遺構写真③



写真3 1区土層断面

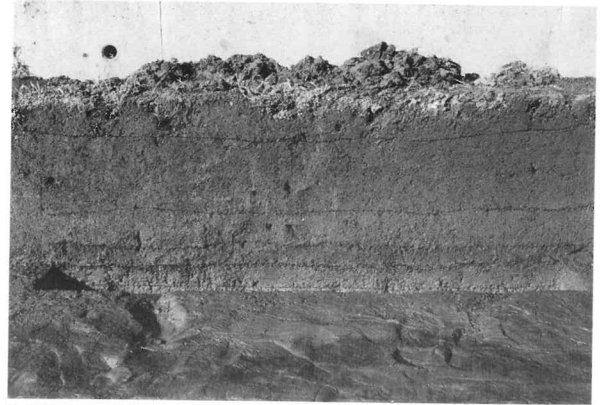


写真4 2区(1トレ)土層断面

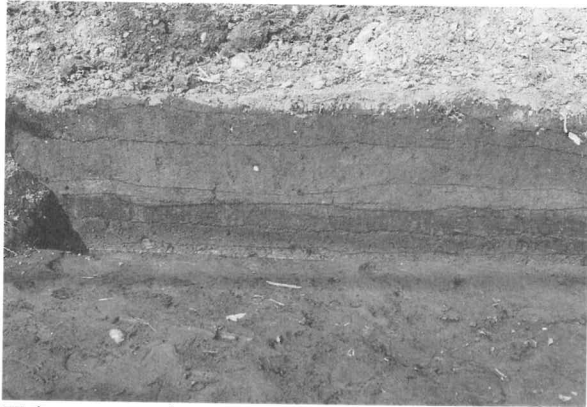


写真5 2区(2トレ)土層断面

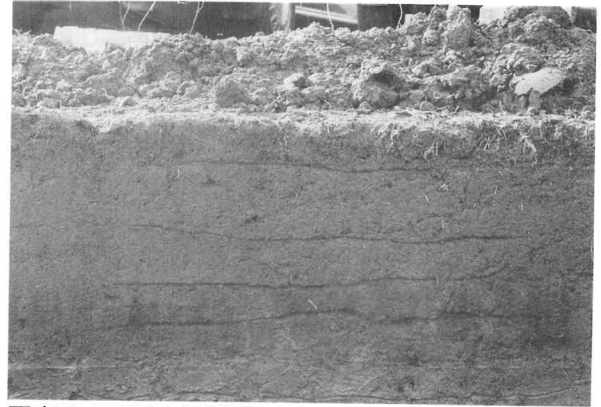


写真6 3区土層断面

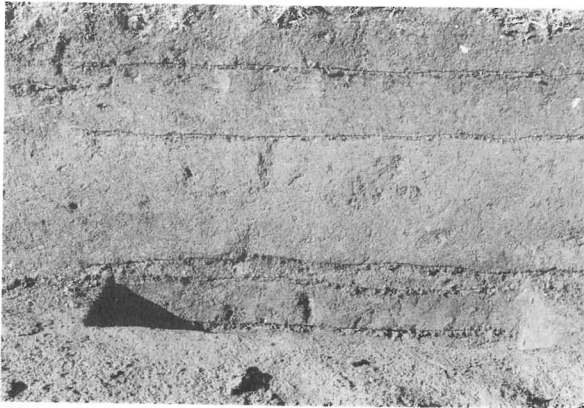


写真7 4区土層断面

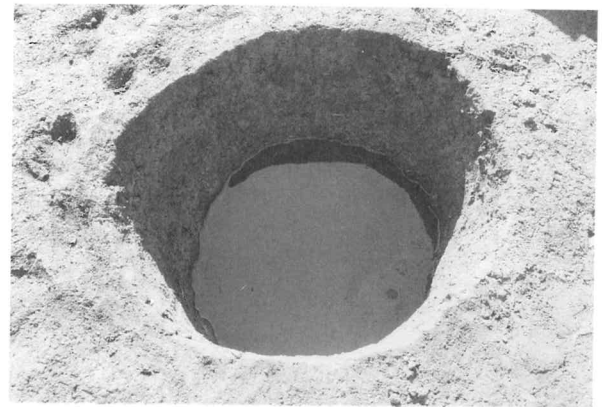


写真8 1区SK01全景



写真9 2区SD01全景



写真10 作業風景

遺構写真④



写真11 1区B軽石下水田面全景（北から）



写真12 1区B軽石下水田面全景（北から）

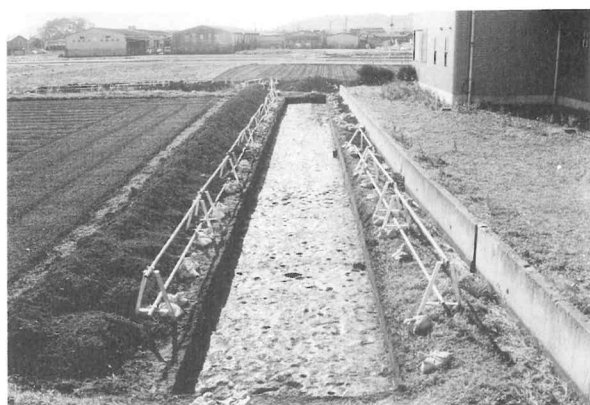


写真13 2区（1トレンチ）B軽石下水田面全景（北から）



写真14 2区（2トレンチ）B軽石下水田面全景（東から）



写真15 3区B軽石下水田面全景（南東から）

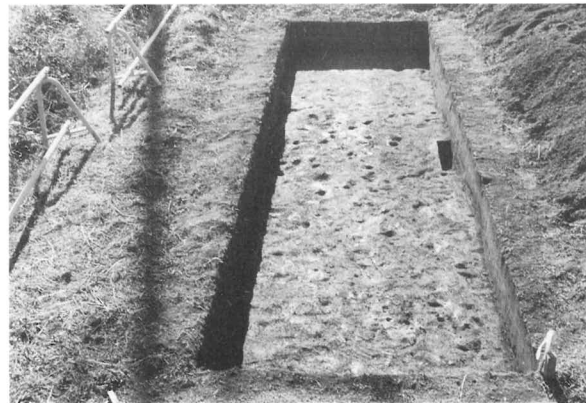


写真16 4区B軽石下水田面全景（北から）



写真17 作業風景



写真18 埋填作業

発掘調査報告書抄録

ふりがな	しものじょうなかおきにいせき
書名	下之城仲沖Ⅱ遺跡
副書名	高崎操車場跡地周辺土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書(5)
巻次	
シリーズ名	高崎市文化財調査報告書
シリーズ番号	第195集
編著者名	高橋 純
編集機関	高崎市教育委員会
所在地	〒370-8501 群馬県高崎市高松町35番地1
発行年月日	2005年3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査機関	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
しものじょうなかおきに 下之城仲沖Ⅱ いせき 遺跡	たかさき し 高崎市 しものじょうまち 下之城町 あざなかおき 字仲沖	102020	384	139° 2' 1"	36° 18' 7"	20041102 20041220	595㎡	区画整理

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
下之城仲沖Ⅱ	生産跡	平安 近世	水田跡 溝・土坑	なし なし	A s - B 軽石層下

高崎市文化財調査報告書第195集	
下之城仲沖Ⅱ遺跡	
2005年3月25日 印刷 2005年3月31日 発行	
編集・発行	高崎市教育委員会 高崎市高松町35番地1 電話027 (321) 1292
印刷	野島印刷株式会社 〒370-0861 高崎市八千代町4-8-14 電話027 (322) 1943

本報告書は再生紙を使用しています。